

みなみかせ

令和5年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

学校生活は点ではなく線

令和6年（2024年）がスタートしたと思ったらあっという間に1月が過ぎていきました。2月1日に全校集会を行いました。2月、3月は学年の総まとめをする時期です。そこで、子どもたちにどんな風にこの時期を過ごしていくのか、その考え方について話しました。

持久走大会を例にして話しました。

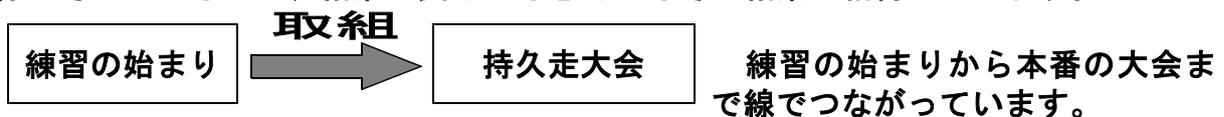
持久走大会を点で考えている人がすることや言うこと

- その日だけ頑張ろうとする。10の力があっても練習では5や6しか出さない。
- 本番の結果が良かったら、「本番で速くてよかった。」
- 本番の結果が悪かったら、「今日はたまたま調子が悪かった。」
結果を何かのせいにしようとする。

持久走大会を線で考えている人がすることや言うこと

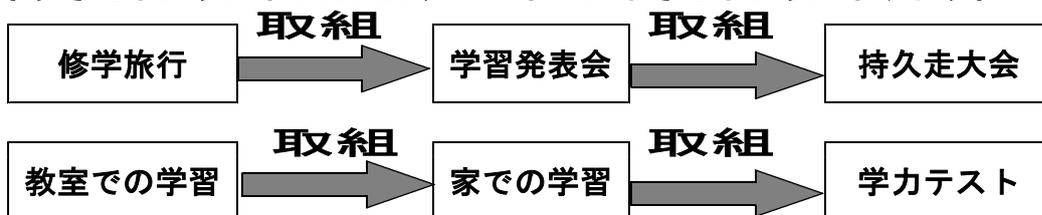
- 練習から10の力で頑張りを続ける。
- 本番の結果が良かったら、「練習を頑張ったからよかった。」
- 本番の結果が悪かったら、「今日は調子が悪かったけど、悔いはない。だってあんなに練習を頑張ったんだから。」

線で考えている人は、結果が良くても悪くてもその結果に納得しています。



線で考えるようになると、自分がどう取り組んできたかを大切にするようになります。また、前回と比べてどうだったのかも自然とこだわるようになります。そして、仕上げに何をすべきか自分で考えるようになります。

そう考えるようになった人は、こんなことも考えるようになります。



学校であるいろんな行事もぽつんとその行事があるのではなく、つながっていると話しました。だからこそ、今が大切であり、今の生活をいいかげんにしない。そして、自分を変えていくという話をしました。

日々を大切にしながら、今の学年の仕上げを頑張ってもらいたいと思います。